

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催時、入居者様、そのご家族へ出席して頂いているが、議事録については入居者様のご家族へ送付出来ていない状態であった。	運営推進会議 議事録をご家族へ送付、職員へ回覧出来る仕組みを整えていく。	次回、運営推進会議開催分から議事録をご家族へ送付していく。職員の回覧は、確認後の捺印欄を設け実施していく。	2ヶ月
2	2	地域貢献や地域交流活動の構想がある。具体的な実施に至っていない状態である。	地域貢献や地域交流活動の構想に向け、実施できるようミーティングを行い実施につなげていく。	地域貢献や地域交流活動について、ミーティングを行っていく。ミーティングでは、構想に優先順位を定め、実施するための具体策を話し合う。	6ヶ月
3	35	避難訓練を年2回実施している。ポータブル発電機の動作確認や消防署職員も来苑。避難訓練は、事前に計画を立て実施している為、自然災害、火災発生時に通報や初期消火、避難誘導を慌てず出来るか課題がある。また自家発電は、停電時自動で切り替わるため、電気専門職以外の職員が手動で稼働したことがない。地域住民の方と避難訓練を行ったことがない。	今後、避難訓練を消防署職員とミーティング実施、十分に安全確保し消防職員立合いの下避難訓練を実施し自然災害、火災発生時に通報や初期消火、避難誘導を慌てず出来るよう訓練を行う。 自家発電の稼働訓練は、電気専門職からレクチャーが必要、電気専門職へ相談からはじめたい。	「避難訓練について」 自然災害、火災発生時に通報や初期消火、避難誘導を慌てず出来るよう、消防職員とミーティング実施。 「自家発電について」 電気専門職へ相談していく。 「地域住民との避難訓練について」 運営推進会議などで、地域住民共同避難訓練実施について課題を提示し話し合っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月